

様式2

[NO. ] 支援の必要性を判断するための一定の指標(例示)・情報集約のための様式

1-1.養育者氏名: (生年月日) 年 月 日(続柄) 1-2.養育者氏名: (生年月日) 年 月 日(続柄)
2. 児童氏名: (生年月日) 年 月 日( 歳) 4.記入日:平成 年 月 日 作成者: (所属: )
3. 住所: 連絡先TEL:

Table with columns A-H and rows for information provision, confirmation, child status, caregiver status, and environment. Includes sub-headers for medical facilities, information sources, and caregiver characteristics.

11.初回情報提供機関
( / ) (担当: )
継続支援の関わり: 有・無

12.情報確認した機関
( / ) (担当: )
継続支援の関わり: 有・無

( / ) (担当: )
継続支援の関わり: 有・無

( / ) (担当: )
継続支援の関わり: 有・無

処遇方針

13.状況判断( / ):
養育者の状況認識:
・身長増加不良・体重増加不良・発達のおくれ・ことばの発達の著しいおくれ・発達のアンバランス・その他( )
・不潔・不自然なげやがざ・慢性疾患・障害・重度のアトピー・喘息(アレルギー疾患)・その他( )
・表情が乏しい・無表情・夜尿・遺尿・失禁が多い・眠りが浅い・夜泣き・うつめ・活気がない・緊張が高い・その他( )
・多動・乱暴・自傷行為・不登校・暴力・万引き・家出・虚言・年齢不相当な性的な興味関心・言動・急激な学力低下・その他( )
・年齢相応の基本的な生活習慣が身につけていない・年齢に不相当な行儀の良さ・その他( )
・養育者との関係(なつかない・拒否・おびえる・服従・養育)・視線を合わせない・家に帰らない・誰ともべたべた・身体接触を極端にいやがる・同年代の子どもと遊べない・孤立・その他( )
・疾患(身体・精神)・障害(身体・知的・精神)・依存症(薬物・アルコール)・うつめ・慢性的ストレス状態・その他( )
・よく怒る・攻撃的・衝動的・体罰の容認・感情不安定・自己中心的・社会的未熟な性格・その他( )
・衣食住の世話をしていない・事故が多い・健診・予防接種を受けさせず・しつけせず・子どもの関わり少ない・その他( )
・発達理解がない・育て方がよくわからない・家事能力が低い・依存的・育児不安が強い・育児よしとせず・その他( )
・かわいと思えない・受容がない・きょうだいで差別する・イライラする・拒否的・無関心・過干渉・権威的・その他( )
・子どもや養育上の問題の認識(自覚)がない・子どもを守れない・子どもの状況より親の欲求を優先・共感性が乏しい・虚言癖・危機の解決できず・ストレス解消できず・その他( )

14.対応判断( / ):
①児童相談所へ通告
②関係者会議の開催が必要
③状況把握のための訪問が必要
④一般子育て支援サービス
a) 現在利用中 ( )
b) 紹介 ( )

15.上記決定事項に対する対応内容
非変動環境の認識:
② 妊娠・分娩状況
・望まない妊娠・妊婦健診未受診での分娩・出産後精神疾患(マタニティ・ブルーズ・産後うつ等)・その他( )
③ 児の出生状況
・低出生体重児・多胎・先天性の疾患等・その他( )
④ 養育者との分離歴
・出産後の長期入院(分離)・子どもとの分離(施設入所等)・養育者が一定しない・その他( )
⑤ 養育者の年齢
・第1子出生時十代の親・その他( )
⑥ 養育者の生育歴
・養育者自身の被虐待歴・親から愛されなかった思い・親との対立・厳格な親に育てられた・その他( )

様式3

[NO. ] 支援の必要性を判断するための一定の指標(例示)に基づく、支援計画の立案・実施状況に関する様式

1-1. 養育者氏名: 続柄: (生年月日) 年 月 日 ( ) 歳 4. 記入日: 平成 年 月 日 作成者: \_\_\_\_\_  
 1-2. 養育者氏名: 続柄: (生年月日) 年 月 日 ( ) 歳 (所属 \_\_\_\_\_)  
 2. 児童氏名: 続柄: (生年月日) 年 月 日 ( ) 歳  
 3. 住所: 連絡先TEL: \_\_\_\_\_

5. 項目		6. 養育支援が必要となりやすい要素の要約		7. 総合判断
子どもの状況	① 発育・発達			子どもの状況総合評価:
	② 健康状態・身体症状			
	③ 情緒の安定性			
	④ 問題行動			
	⑤ 基本的な生活習慣			
	⑥ 関係性			
養育者の状況	⑦ 健康状態等	養育者1( )	養育者2( )	養育者の状況総合評価:
	⑧ 性格的傾向			
	⑨ 日常的世話の状況			
	⑩ 養育能力等			
	⑪ 子どもへの思い・態度			
	⑫ 問題認識・問題対処能力			
養育環境	⑬ 夫婦・家族関係	養育環境総合評価:		
	⑭ 家族形態の変化			
	⑮ 養育者との接触度			
	⑯ きょうだい関係			
	⑰ 居住状況			
	⑱ 労働状況			
	⑲ 経済状況・経済基盤			
	⑳ 地域社会との関係			
非変動環境	㉑ 妊娠・分娩状況	非変動環境総合評価:		
	㉒ 児の出生状況			
	㉓ 養育者との分離歴			
	㉔ 養育者の年齢			
	㉕ 養育者の生育歴			

8 調査訪問結果

訪問者:  
訪問の受け入れ(受容的・消極的)

10. 家族構成

9. 期待できる地域の人材や社会資源

現在のサポート状況:  
今後期待できるサポート:  
例:同居家族・祖父母・友達・養育者のきょうだい・近所の人等

11. 総合的所見・判断( / )

※児童相談所への通告の必要性【 なし・あり ( / ) 連絡】

12. 養育支援計画と役割分担 支援計画( / )作成

	a. 支援が必要な部分	b. 何を行うか	c. 誰が行うか	d. どのような方法で	e. いつまでに	f. 実施結果	g. 実施後の状況
子どもへの支援							
養育者への支援							
養育環境への支援							

\* 中核機関担当者氏名 \_\_\_\_\_ \* 訪問支援者氏名: \_\_\_\_\_ 連絡先: \_\_\_\_\_

氏名:	記入者:	(所属)	記入回数:	回目
受理: 年 月 日	関わり開始:	年 月 日	記入日:	年 月 日

重症度: 最重度 重度 中度 軽度 疑い ハイリスク

乳幼児虐待リスクアセスメント指標

対象は就学前乳幼児。養育者は虐待者、非虐待者の両方。リスクの該当項目にすべて○をつける。○がついた項目のうちより高いリスクの項目を評価し、項目欄の左欄に○をつける。把握できない場合は不明欄に○を、児の状態等で記入できない項目は非該当とし空欄のままにする。リスクが中くらい以上の項目が多いときは虐待の重症度が高い。不明の項目が多いときも重症度が高いおそれがある。

評価項目	高いリスク	中くらいのリスク	低いリスクまたはリスクなし	不明
子ども	1 虐待の継続	慢性	ときどき	
	2 年齢	2歳以下	3歳以上	
	3 出産状況	多胎	低出生体重児	単胎
	4 分離歴	親子分離歴あり		なし
	5 身体状況	骨折 頭腹部、顔面、性器の外傷 首を絞められる等重大な影響の危機	小さい傷がある たたかれている	該当なし
	6 発育状態(身長・体重)	-2SD以下または50%タイル以上の低下	発育不良 成長発育曲線から低下	該当なし
	7 ケア等の状態	ケアされていない 放置 健診すべて未受診	左記の傾向あり・時々あり	特に問題なし
	8 健康状態	慢性疾患 身体障害あり		該当なし
	9 発達状態	月齢、年齢相当でない		月齢、年齢相当
	10 親との関係	あやしても笑わない 抱かれても反り返る 希薄(よそよそしい) 萎縮する なつかない 服従する	左記の傾向あり・時々あり	該当なし
	11 情緒問題	無表情 よく泣く 視線が合わない おびえ 不安 暗い 攻撃的 遊べない 感情コントロールできず 誰にでもべちゃべちゃ	左記の傾向あり・時々あり	該当なし
	12 問題行動	拒食 過食 異食 自傷 多動 かみつく 弄便 遺糞 夜遺尿 盗み 徘徊 虚言 抜毛 性的言動	左記の傾向あり・時々あり	該当なし
養育者	13 虐待の認識度	虐待行為を認めない 虐待行為を認めるが懐と言い訳する	虐待行為を認め、一定の改善ができる	虐待行為を認め、改善ができる
	14 精神状態	精神症状による自傷他害がある 未治療・治療効果の上まらない疾患あり 強いうつ及び強迫状態	左記の傾向あり 不安傾向あり	該当なし
	15 性格等の問題	衝動的 暴行歴あり 共感性欠如	左記の傾向あり 未熟(わがまま、依存的)	該当なし
	16 依存症の問題	アルコール、ギャンブル等の問題あり シンナー覚せい剤等乱用の疑い		なし
	17 虐待歴	本児きょうだいへの虐待歴(不明含) きょうだいの不審死	過去に説明の曖昧な怪我あり 虐待歴の疑いあり	なし
	18 被虐待歴	被虐待歴あり 愛されなかった思い		なし
	19 妊娠状況	望まぬ妊娠	第1子若年出産	該当なし
養育状況	20 子への感情・態度	子を拒否・受容がない きょうだい間での不 平等な扱い 体罰の容認	左記の傾向あり 気持ちはあるが一貫しないしつけ	該当なし
	21 育児(ケア)の問題	育児しない・できない 極度の不潔 医療を受けさせない	左記の傾向あり 育児知識の不足 事 故防止・監督不十分 育児負担あり	該当なし
	22 家事の問題	衣食性に重大な問題がある	料理・清潔・家計のやりくりの問題がある	該当なし
	23 子を守る人的資源	子は在宅で虐待者がほとんどみている	子どもは在宅だが他にも養育者がいる 保育所等社会資源の利用	常に他の養育者の目がある
	24 家庭内非虐待者の態度	非虐待者がいない 虐待を認めない 傍観している	気づいているが子を守れない	子を守る
家庭・環境	25 夫婦・家族関係	断絶 混乱・対立 不和 暴力 家族の変化	夫婦間の不満 ひとり親家庭 親との 対立	該当なし
	26 経済状況	生活が経済的に苦しい 経済基盤が不安定	やや苦しい 計画性が乏しい	該当なし
	27 居住状況	不衛生、不適切な居住状況 転居を繰り返す	左記の傾向あり 時々あり	該当なし
	28 相談できる人・機関	地域で孤立 親族と対立	少しサポートがある	援助あり
	29 援助協力度	援助の拒否 家の中に入れない 問題意識がない	時により態度が変わる	協力する SOSが適切に出せる
計		個	個	個

その他大きい要因となっている状況( )

虐待を機械的に判断するのではなく、保健師自身の感性による虐待を見る「目」を育てよう！  
乳幼児虐待リスクアセスメント指標の項目を認識することにより、親子の背景なども理解しやすくなりますよ！

保健分野の乳幼児虐待リスクアセスメント指標の使用方法

- 1 重症度判断を行っておくこと
- 2 高いリスク、中くらいのリスク項目が多いときは、虐待の通告を検討する
- 3 在宅援助を支援する場合は、親子の状況把握のために定期的に記入し、客観的に援助を評価していく。  
※この指標は虐待の判断ではない 臨機応変なアセスメントが大切！

**注意！**  
乳幼児虐待リスクアセスメント指標の数に頼りすぎないこと！

乳幼児虐待リスクアセスメント指標

評価項目	高いリスク	中くらいのリスク	低いリスクまたはリスクなし	不明
1 虐待の継続	<input type="radio"/> 慢性 ネグレクトは慢性的な状態	ときどき 回数や頻度は問わない		
2 年齢	<input type="radio"/> 2歳以下	<input type="radio"/> 3歳以上		
3 出産状況	<input type="radio"/> 多胎 長期入院、施設入所、親以外の養育者等	<input type="radio"/> 低出生体重児	<input type="radio"/> 単胎	不明が多いときも、関係性のとりにくさを表し、重症度が高いおそれがある
4 分娩歴	<input type="radio"/> 親子分離歴あり		<input type="radio"/> なし	
5 身体状況	<input type="radio"/> 骨折 頭部、顔、性器の外傷 首を絞められる等重大な影響の危険	<input type="radio"/> 小さい傷がある たたかれている	<input type="radio"/> 該当なし	
6 発育状態(身長・体重)	<input type="radio"/> -2SD以下または50%以下以上の低下	<input type="radio"/> 発育不良 成長発育曲線から低下	<input type="radio"/> 該当なし	
7 ケア等の状態	<input type="radio"/> 「慢性疾患」 服薬の管理や生活上の配慮などを必要とする場合にチェックする	<input type="radio"/> ケアされていない 放置 健診すべて未受診	<input type="radio"/> 左記の傾向あり時々あり	特に問題なし
8 健康状態	<input type="radio"/> 慢性疾患 身体障害あり		<input type="radio"/> 該当なし	
9 発達状態	<input type="radio"/> 月齢、年齢相当でない		<input type="radio"/> 月齢、年齢相当	
10 親との関係	<input type="radio"/> あやしても笑わない 抱かれても反り返る 希薄(そよそい) 要諦する なつかない 服従する	<input type="radio"/> 左記の傾向あり時々あり	<input type="radio"/> 該当なし	
11 情緒問題	<input type="radio"/> 無表情 よく泣く 視線が合わない おびえ 不安 暗い 攻撃的 遊べない 感情コントロールできず 誰にでもへたり	<input type="radio"/> 「よく泣く」は虐待のきっかけとなることが多い。 「誰にでもべたべた」は安定していない人間関係により起こる行動と考えられ、虐待による情緒問題として重要		
12 問題行動	<input type="radio"/> 拒食 過食 異食 自傷 多動 かみつく ※1 弄便 遺尿 夜遺尿 盗み 徘徊 虚言 抜毛 性的言動	<input type="radio"/> 左記の傾向あり時々あり	<input type="radio"/> 該当なし	
13 虐待の認識度	<input type="radio"/> 虐待行為を認めない 虐待行為を認めるが疑いと認める	<input type="radio"/> 「自傷」は頭を打ち付ける行為も含む。 「性的言動」は性的虐待のサインとして重要 かである	<input type="radio"/> 虐待行為を認め、改善が できる	
14 精神状態	<input type="radio"/> 精神症状による自傷他害がある 未治療・治療効果の上がらない疾患あり 強いうつ及び強迫状態	<input type="radio"/> 左記の傾向あり 不安傾向あり	<input type="radio"/> 該当なし	
15 性格等の問題	<input type="radio"/> 衝動的 暴行歴あり 共感性欠如 ※2	<input type="radio"/> 左記の傾向あり 未熟(わがまま、依存的)	<input type="radio"/> 該当なし	
16 依存症の問題	<input type="radio"/> アルコール、ギャンブル等の問題あり シンナー覚せい剤等乱用の疑い	<input type="radio"/> 子への対応より飲酒や ギャンブルが優先するなど	<input type="radio"/> なし	
17 虐待歴	<input type="radio"/> 本児きょうだいへの虐待歴(不明含) きょうだいの不審死	<input type="radio"/> 過去に説明の曖昧な怪我あり 虐待歴の疑いあり	<input type="radio"/> なし	
18 被虐待歴	<input type="radio"/> 被虐待歴あり 愛されなかった思い		<input type="radio"/> なし	
19 妊娠状況	<input type="radio"/> 望まぬ妊娠	<input type="radio"/> 第1子若年出産	<input type="radio"/> 該当なし	
20 子への感情・態度	<input type="radio"/> 子を拒否・受容がない きょうだい間での 不平等な扱い 体罰の容認	<input type="radio"/> 左記の傾向あり 気持ちはあるが一貫しない 左記の傾向あり 育児知識の不足 事故防止・監督不十分 育児負担あり	<input type="radio"/> 該当なし	
21 育児(ケア)の問題	<input type="radio"/> 育児しないできない 極度の不潔 医療を受けさせない	<input type="radio"/> 左記の傾向あり 育児知識の不足 事故防止・監督不十分 育児負担あり	<input type="radio"/> 該当なし	
22 家事の問題	<input type="radio"/> 衣食住に重大な問題がある	<input type="radio"/> 料理・清潔・家計のやりくり に問題がある	<input type="radio"/> 該当なし	
23 子を守る人的資源	<input type="radio"/> 子は在宅で虐待者がほとんどみている	<input type="radio"/> 子どもは在宅だが他にも養育者が いる 保育所等社会資源の利用	<input type="radio"/> 常に他の養育者の目 がある 生活時間帯に虐待者以外の大人がいること。 虐待を止められるかは問わない	
24 家庭内非虐待者の態度	<input type="radio"/> 非虐待者がいない 虐待を認めない 傍観している 一人親家庭も含む	<input type="radio"/> 気づいているが子を守れない	<input type="radio"/> 子を守る	
25 夫婦・家族関係	<input type="radio"/> 断絶 混乱・対立 不和 暴力 家族の美化 ※3	<input type="radio"/> 夫婦間の不満 ひとり親家庭 親との対立	<input type="radio"/> 該当なし	
26 経済状況	<input type="radio"/> 生活が経済的に苦しい 実際の収入の多寡 経済認識が不安定 に関わらず判断する	<input type="radio"/> やや苦しい 計画性が乏しい	<input type="radio"/> やりくりできない 借金あるのに通販や訪問販売 で無計画に購入する	
27 居住状況	<input type="radio"/> 不衛生、不適切な居住状況 転居を繰り返す	<input type="radio"/> 左記の傾向あり 時々あり	<input type="radio"/> 該当なし	
28 相談できる人・機関	<input type="radio"/> 地域で孤立 親族と対立 との対立も含む	<input type="radio"/> 少しサポートがある	<input type="radio"/> 援助あり	
29 援助協力度	<input type="radio"/> 援助の拒否 家の中に入れない 問題意識がない	<input type="radio"/> 時により態度が変わる	<input type="radio"/> 協力が適切 SOSが適切に出せる	
計		12 個	9 個	5 個

高いリスクが12個以上(うち子どもに5個以上)のときは、重症度が重度であることが多い

※12 問題行動  
「拒食」ミルクを飲まないことも含む  
「過食」食べ方(ガツガツ食べる)や1回に食べる量が多い等も含む  
「異食」壁や土などを食べる  
「自傷」頭を壁やベッドに打ち付ける。指・手・腕を噛んだりする。  
「弄便」自分の便を口に入れたり、壁になすりつける  
「遺棄」パンツの中に便をしてしまう  
「夜遺尿」夜尿がある パンツに尿を漏らしてしまう

※15 性格の問題  
「衝動的」すぐイライラとし、カッとなりやすく自制心を失うことがある。すぐに手がでる。暴力的  
「共感性の欠如」子が泣いたりしたとき、その意味をくみ取ろうとしない。くみ取れない。子の要求を予測したりすることが出来ない。子の発達に相応しない過度の要求をする  
「未熟・(わがまま、依存的)」自己中心的な行動をとる。子と対等にTVゲームに等しい取り合いをする(暴力的に等しい)大人気ない行動。ヒステリックな言動  
「暴力」は子どもに及んだり、暴力を見る心理的影響  
「家族の変化」は同居者が増える。大家族から核家族になる等

※25 夫婦・家族関係  
「断絶」別居、単身赴任等夫婦間の交渉が全くない  
「混乱・対立」離婚等に至るときの緊張した状態  
「不和」夫の育児参加や精神的サポートがない  
「暴力」は子どもに及んだり、暴力を見ることによる心理的影響  
「家族の変化」は同居者が増える。大家族から核家族になるなど

【資料4】

要支援家庭チェックシート

(関係機関用)  
 <作成日> 平成 年 月 日  
 <作成者> 機関名 氏名

養育者氏名	父	生年月日	(年齢)	母	生年月日	(年齢)
児童氏名		生年月日	(年齢)	児童の所属	幼・保・小・中・高 (年)	
住所				連絡先電話		

1. 虐待の有無(虐待と思われる場合・虐待が疑われる場合は、必ず記入してください。)

虐待の種類別 (該当するものに○をつける)	虐待と思う(疑う)状況等	虐待していると思われる人
1 身体的虐待		父・母・その他( )
2 性的虐待		父・母・その他( )
3 ネグレクト		父・母・その他( )
4 心理的虐待		父・母・その他( )

2. 支援が必要と思われる状況の判断(虐待ではないが支援が必要な家庭と判断した場合は記入。1を記入した場合は必ず記入すること。)

区分	支援が必要となりやすい要素(例)	リスク有	リスク無	不明	具体的な状況等 (リスク有に○を付した場合に記入)
子どもの状況	年齢	1歳未満(乳児)			
	出生状況	多胎 先天性の異常・障害 低出生体重児 等			
	発育	身長増加不良 体重増加不良 極端に太っている 等			
	健康状態・身体状況	慢性疾患 心身障害あり 虚弱(喘息、湿疹など) 傷・火傷・病が多い 等			
	発達障害	遅れ(精神発達・行動面も含む)、発達等の疑いもあり 等			
	情緒行動問題	無表情 乱暴 多動 過度のスキンシップを他の大人に求める 親の関わりによる問題あり 年齢不相応な性的興味あり 等			
	基本的な生活習慣	年齢相応の基本的な生活習慣が身につけていない 年齢に不相応な行動の良さ 朝食を食べない 等			
	乳児期の問題行動※	母乳・ミルクを飲まない よく泣く 寝つきが悪い あやしても笑わない いつも機嫌が悪い 等			
	幼児期の問題行動※	集団になじめない 落ち着きがない 噛みつき行動 万引等			
	学齢期以降の問題行動※	引きこもり 不登校 家庭内暴力 非行(万引・家出・喫煙など) 摂食障害 等			
養育者との関係	拒否感 怖がる なつかない 委縮する 顔色をうかがう 家に帰らたがらない 等				
養育者の状況	生育歴	被虐待歴 親に愛されなかった思い 親への拒否感 等			
	妊娠歴	予定外の妊娠・出産(望まぬ思い) 若年の母(第1子を10代で出産) 等			
	健康状態・身体状況	慢性疾患 病弱 肩こり・腰痛(不定愁訴も含める) 等			
	嗜癖・依存	アルコール・薬物等への依存・乱用(疑い) ギャンブル 摂食障害等への依存行動 等			
	精神状態・知的能力	精神状態で子どもを傷つける危険 うつ病・鬱迫的な行動 育児ノイローゼ 知的な遅れが疑われる 等			
	性格状態	攻撃的 衝動的 共感性の欠如 思い込みが激しく融通が利かない 自己中心的 自信がない 虚言癖 等			
	子どもへの思い・態度	かわいいと思えない 受容がない きょうだいで差別 イライラする 拒否的 無関心 過干渉 権威的 等			
	日常的な世話の状況	衣食住の世話をしない 事故が多い 健診・予防接種を受けさせず しつけせず 夜間放し置いている 等			
	育児・養育行動	厳しい体罰 発達の理解ない 育児・養育しようとしていない 医療を受けさせない 育児・養育能力の不足 等			
	問題への対処	危機の解決できず ストレス解消できず 問題に気づかない 子どもを守れない 子どもより親の欲求を優先 等			
家事能力	家事能力の不足 家事の負担感 等				
公的機関の支援	拒否 無視 訪問できず 等				
養育状況	家族・親族関係	親・親族との対立(支援なし) 要介護の親と同居 等			
	夫婦関係	夫婦間暴力(DV) 夫婦間で対立・混乱 夫婦間の不満 等			
	家族形態	離婚・死別・別居 ひとり親 内縁関係 再婚 等			
	親子関係	再婚等による連れ子の存在あり 養子縁組 養育家庭 等			
	きょうだい関係	きょうだいが多い きょうだいに疾患・障害あり 等			
	子どもとの接触度	子は在宅で、主な養育者とのみいる時間が長い 等			
	分離歴	諸事情により長期間親子が離れて生活したことがある(入院、施設等入所、親戚宅等)			
	就労状況	定職なし 失業中 働く意思なし 職を転々とする 不規則な就業時間 就労によるストレスあり 等			
	経済状況・経済基盤	不安定 苦しい 失業中 生活保護 借金 等			
	居住状況	不衛生 居室内の善しい乱れ 転居を繰り返す 住所不定 等			
周囲とのつながり・支援体制	地域で孤立 育児支援者がいない 相談できる人がいない 隣人・周囲とのトラブルあり 等				
その他					

(注意1) ※「問題行動」欄は、対象児童の年齢に該当する確認箇所をチェックしてください。

(注意2) きょうだいケースについては、それぞれの児童の状況を確認する必要があります。

(注意3) 「その他」の欄には、上記以外で気になること等を記入してください。(例：外国籍、養育者に宗教上のこだわりがある等)

◎本シートは、各関係機関が「支援が必要な家庭」と判断し、子ども家庭支援センターに連絡をする際に使用

# 要支援家庭アセスメントシート

<作成日> 平成 年 月 日  
<作成者> 氏名

◎対象世帯の状況 (※「ジェノグラム」に書き込む)

養育者氏名 (父)	生年月日 (年齢)	(母)	生年月日 (年齢)	虐待の可能性
児童氏名	生年月日 (年齢)	児童の所属	幼・保・小・中・高 (年)	有・無
住所	連絡先電話			(身体的・性的・ネグレクト・心理的)

◎確認項目

区分	支援が必要となりやすい要素 (例)	リスクの有無			確認先機関	具体的な状況等 〔「リスク有」にの付したる場合に記入〕	子ども家庭支援センターの判断 〔関係機関からの聞き取り、保護官等との面談、調査等をもとに、各状況について記入〕
		有	無	不明			
子どもの状況	年齢	1歳未満(乳児)					子どもの状況
	出生状況	多胎 先天性の異常・障害 低出生体重児 等					
	発育	身長増加不良 体重増加不良 極端に太っている 等					
	健康状態・身体状況	慢性疾患 心身障害あり 虚弱(喘息、湿疹など) 傷・火傷・掻が多い 等					
	発達障害	遅れ(精神発達・行動面も含む)、発達等の疑いもあり 等					
	情緒行動問題	無表情 乱暴 多動 過度のスキンシップを他の大人に求める 親の関わりによる問題あり 年齢不相応な性的興味あり 等					
	基本的な生活習慣	年齢相応の基本的な生活習慣が身につけていない 年齢に不相応な行動の度々 朝食を食べていない 等					
	乳児期の問題行動※	母乳・ミルクを飲まない、よく泣く、寝つきが悪い、あやしても笑わない、いつも機嫌が悪い 等					
	幼児期の問題行動※	集団になじめない、落ち着かない、噛みつき行動、万引等					
	学齢期以降の問題行動※	引きこもり、不登校、家庭内暴力、非行(万引・家出・喫煙など)、持病隠蔽 等					
養育者との関係	拒否感・怖がる、なつかない、要請する、顔をうかがう、家に帰らたがらない 等						
養育者の状況	生育歴	被虐待歴 親に愛されなかった思い 親への拒否感 等					養育者の状況
	妊娠歴	予定外の妊娠・出産(望まぬ思い) 若年の母(第1子を10代で出産) 等					
	健康状態・身体状況	慢性疾患 病弱 胸こり・腰痛(不定愁訴も含める) 等					
	嗜癖・依存	アルコール・薬物等への依存 乱用(疑い) キャンブル 持病隠蔽等への依存行動 等					
	精神状態・知的能力	精神状態で子どもを傷つける危険 うつ病・鬱病的な行動 育児ノイローゼ 知的な遅れが疑われる 等					
	性格状態	攻撃的 衝動的 共感性の欠如 思い込みが激しく融通が利かない 自己中心的 自信がない 被害癖 等					
	子どもへの思い・態度	かわいいと思えない 愛着がない きょうだいで差別 イライラする 拒否的 無関心 過干渉 情緒的 等					
	日常的な世話の状況	衣食住の世話をしない 事故が多い 健診・予防接種を受けさせず、つけがせず 夜間放置している 等					
	育児・養育行動	厳しい体罰 発達の理解がない 育児 養育しようとしていない 悪意を込めさせない 育児 養育能力の不足 等					
	問題への対処	危機の解決できず ストレス解消できず 問題に気づかない 子どもを守れない 子どもより親の欲求を優先 等					
家事能力	家事能力の不足 家事の負担感 等						
公的機関の支援	拒否 無視 訪問できず 等						
養育状況	家族・親族関係	親・親族との対立(支援なし) 養介護の親と同居 等					養育状況
	夫婦関係	夫婦間暴力(DV) 夫婦間で対立・混乱 夫婦間の不満 等					
	家族形態	離婚・死別 別居 ひとり親 内縁関係 再婚 等					
	親子関係	再婚等による連れ子の存在あり 養子縁組 養育家庭 等					
	きょうだい関係	きょうだいが多い(____人) きょうだいに疾患・障害あり 等					
	子どもとの接触度	子は在宅で、主な養育者とのみいる時間が長い 等					
	分離歴	諸事情により長期間親子が離れて生活したことがある(入院、施設等入所、親戚宅等)					
	就労状況	定職なし 失業中 働く意思なし 職を転々とする 不規則な就業時間 就労によるストレスあり 等					
	経済状況・経済基盤	不安定 苦しい 失業中 生活保護 借金 等					
	居住状況	不衛生 居室内の著しい乱れ 転居を繰り返す 住所不定 等					
周囲とのつながり・支援体制	地域で孤立 育児支援者がいない 相談できる人がいない 隣人・周囲とのトラブルあり 等						
その他							

No.	◎初回情報提供機関	
1	(年月日)	(担当)
	今後の継続的な関わりの必要性	要・不要

No.	◎情報を確認した機関	
2	(年月日)	(担当)
	今後の継続的な関わりの必要性	要・不要
3	(年月日)	(担当)
	今後の継続的な関わりの必要性	要・不要
4	(年月日)	(担当)
	今後の継続的な関わりの必要性	要・不要
5	(年月日)	(担当)
	今後の継続的な関わりの必要性	要・不要
6	(年月日)	(担当)
	今後の継続的な関わりの必要性	要・不要

※「要」の選否は「エコマップ」に関係機関として書き込む

◎状況判断 (年月日):

◎具体的な対応 (年月日):

①児童相談所へ送致 (→「児童虐待送致票」)

②関係機関との連携等による支援が必要  
→関係者会議の開催 (有・無)  
→児童相談所の関与 (有・無)

③状況把握のための訪問が必要 (訪問者: )

④在宅サービス等子育て支援サービスを活用  
a) 現在利用中 ( )  
b) 提供・調整 ( )  
⑤その他 ( )

上記を受けての今後の支援計画 (支援目標・支援内容等)

(注意1) ※「問題行動」欄は、対象児童の年齢に該当する確認箇所をチェックしてください。  
(注意2) きょうだいケースについては、それぞれの児童の状況を確認する必要があります。  
(注意3) 「その他」の欄には、上記以外で気になること等を記入してください。(例: 外国籍、養育者に宗教上のこだわりがある 等)

ハイリスク妊婦アセスメント票

担当保健師( )

(妊婦氏名)		生年月日	H. S. 年 月 日	住所	区
		出産予定日	H. 年 月 日		
アセスメント項目		アセスメント実施(H. 年 月 日)		(A)保健師フォロー (H. 年 月 日)	(B)専門的家庭訪問支援事業(妊婦)
		1 妊婦面接 2 妊婦教室 3 その他		フォロー方法 電話・訪問・面接	支援目標
妊娠状況	1 予想外の妊娠で困っている	(特記事項)		(特記事項)	
	2 妊娠届けが22週以降である				
	3 妊娠・出産に対する不安が大きい				
	4 妊娠の経過不良				
	5 多胎妊娠				
本人状況	6 若年妊婦				
	7 精神疾患あり(治療あり・なし)				
	8 慢性疾患あり				
	9 身体の障害または問題あり				
	10 知的または理解力に問題あり				
	11 親からの虐待(疑い)あり				
家庭状況	12 気になる様子				
	13 未婚				
	14 経済不安あり				
	15 配偶者のことで心配あり				
	16 上の子どものことで心配あり				
支援体制	17 上の子への虐待(疑い)あり				
	18 他の心配ごとあり				
	19 相談者がいない				
	20 出産後の援助者がいない				
				◎支援回数: 訪問( 回)・電話( 回)・面接( 回)	
アセスメントの結果		アセスメントの結果		フォロー後の結果	
結果判断理由		結果判断理由		結果判断理由	
1 保健師フォロー 2 他機関紹介 3 フォロー必要なし		1 保健師継続支援必要あり ① 妊娠中フォロー ② 産直後からのフォロー 2 他機関でのフォロー 3 フォロー必要なし		1 保健師継続訪問 ① 出産後育児支援家庭訪問事業導入予定 ② 保健師のみでの継続訪問 2 他機関でのフォロー 3 フォロー必要なし	
*アセスメントの結果1はフォロー後(A)に記入		*フォローの結果1の①は(B)に記入			
記録者( ) 係長( )		記録者( ) 係長( )		記録者( ) 係長( )	

## 育児支援家庭訪問員研修

子育て支援課 H20.5.19

- 1 目的 育児支援家庭訪問員に対して、事業に必要な知識や技術の習得を図り、支援家庭に対して適切な助言や支援を行うことができることを目的とする。
- 2 対象 □□市育児支援家庭訪問員として今年度新規に登録されるもの及びすでに登録されており本年度も継続して活動を希望する育児支援家庭訪問員
- 3 研修内容
  - (1) 虐待予防について
  - (2) 乳幼児の発育発達について
  - (3) 対人援助技術について
  - (4) 家庭訪問時の注意点や倫理的配慮
  - (5) 精神保健に関する理解
  - (6) 事例検討会
  - (7) その他育児支援家庭訪問を実施するに当たって必要な内容
- 4 平成20年度の研修について
  - (1) 日程 原則、奇数月の第3水曜日 (午後1時30分～午後3時30分)

(2) 内容

日程	研修内容	講師(予定)
5月21日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・□□市の母子保健、子育て支援施策の概要について</li> <li>・個人情報保護について</li> <li>・育児支援家庭訪問事業の概要について(記録を含む)</li> </ul>	子育て支援課職員
7月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・□□市の児童虐待の現状について</li> <li>・対人援助技術について(面接技術) ～傾聴・共感・受容のあり方～</li> </ul>	児童相談所 (児童相談所長)
9月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の発達と発育について</li> <li>・訪問事例の共有と支援の検討</li> </ul>	子育て支援課職員
11月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マタニティブルー・産後うつ病の基礎知識と対応</li> <li>・精神疾患を有する養育者への支援について</li> </ul>	精神保健福祉センター 一医師
1月21日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問事例の共有と支援の検討</li> </ul>	子育て支援課職員 各区担当職員
3月18日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のまとめ</li> </ul>	子育て支援課職員 各区担当職員
フォロー研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食実習</li> </ul>	管理栄養士
フォロー研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沐浴実習</li> </ul>	助産師

(3) 会場 □□市役所 101会議室 他

(4) その他 講師には、別紙にて依頼する。  
研修内容により、エンゼルヘルパー派遣事業者へ参加を呼びかける。